新たなメガソーラー事業 臨海部企業分譲地に

基本合意を交わしました。 原4区)に、国内最大級のメガソーラー が、臨海部企業分譲地(田原1区、田 (太陽光発電所)事業を行うことで ・日、三菱商事㈱と㈱シーテック

─ 原市と愛知県企業庁は、1月28

般家庭約2万4千世帯の年間使用量 ます。この施設の年間想定発電量は、 模7Mの太陽光発電施設が建設され 社が設立され、約8㎏の用地に発電規 クにより(仮称)たはらソーラー合同会 に相当する規模です。 この事業は、三菱商事㈱と㈱シーテッ

> ます。 とから、立地に結び付きました。事業 エコガーデンシティ構想」にも見合うこ 持続的な地域づくりを目指す「たはら 然環境に恵まれた地域です。また、本 時間(愛知県平均1973時間)で、自 暖化対策や電力の安定供給に貢献し 内には稼働を開始する予定で、地球温 は平成24年度に着手し、平成26年度 市の推進する環境と共生する豊かで 田原市は、年間日照時間が2179

に着手した三井化学㈱のメガソーラー 今回の事業のほか、平成24年11月

事業と合わせた一大メガ 活性化が期待されてい 田原市の産業や地域の ソーラー集積地として、

※気象庁伊良湖観測所の過 去10年間平均気象から引用

FAX 23 局 0 6 6 9 ☎23局3549 企業立地推進室

新規コンテナ航路が就航 ロシアへ自動車部品を運ぶ

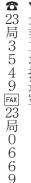
克幸田原市長ら関係者が就航を祝い 振興会会長の佐原光一豊橋市長、鈴木 念式典では、大村秀章知事や三河港 たに就航しました。港で開催された記 ↑河港とウラジオストク港を結ぶコ ーンテナ定期航路が、1月25日、新

場で生産されたランドクルーザープラ ドの部品を、ロシアのウラジオストク港 この航路は、トヨタ自動車㈱田原丁

> に運ぶものです。 にあるソラーズ・ブッサン社の組立工場

関心や期待が高まっています。 は、各企業から魅力のある地域として りました。田原市を含め三河港周辺 が就航したことで、貿易相手国が広が 三河港に、ウラジオストク港への航路

企業立地推進室





ラジオストク港への初荷役を披露

三河港の海外コンテナ航路は中国、韓国に続い て3カ国目となります。東アジアの港である釜山港を TEUから約7万TEUとなります。

※1TEUは長さ6mのコンテナ1個分